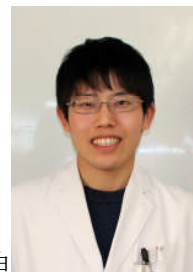


和歌山病院での実習を終えて



来田 英伸

今回、呼吸器内科臨床実習の一環として、国立病院機構和歌山病院で2日間実習をさせていただきました。南方院長先生、駿田副院長先生をはじめ、多くの病院スタッフの皆様大変お世話になりました。

南方院長先生には、胸部X線の読影について、肺の構造や胸部X線の正常像といった基礎的な内容を、院長先生の質問に対して自分たちで考えていく形式で勉強させていただきました。このような形式で突き詰めて考えてみると、今まで理解していたと思っていた事項に関しても、単に知識を暗記していたにすぎないことに気づき、今回、原理から真剣に考えることで、より深い理解が得られたように思います。

駿田副院長先生をはじめ、多くの先生方には結核や酸素療法についてのセミナーや結核病棟の説明をしていただきました。実際にN95マスクやリザーバー付きマスク等を体験させていただいたことで、医療器具の構造や使い方の理解が深まるとともに、実際に着用するとどの程度の負担になるのかといった使用者側の感覚も学ぶことができました。

今回の実習では、普段とは異なる環境で新しい多くの事を体験できたことで大変勉強になりました。また、物事を論理的に突き詰めて考えていくことの重要性についても再認識し、これからの臨床実習や、医師として働く時にも論理的に考えることを忘れず、知識や考察を深めていければと思います。

最後になりましたが、このような有意義な実習の機会をいただき、南方院長先生、駿田副院長先生をはじめ、多くの病院スタッフの皆様心より感謝申し上げます。